



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO.24
(通巻155号)
平成30年(2018)
2月1日(木)

『タイガーマスクと晴れ着』

校長 飯野 博史

寒さのピークが続いていますが、3日は節分、4日は立春、かすかに春の足音が聞こえてきます。引き続き、一日一日を大切に充実させていきましょう。

なにげなくニュース番組を見ていると「タイガーマスク運動支援プロジェクト」という話題に目がとまりました。8年前、前橋市の児童養護施設の玄関にランドセルや現金が「伊達直人」というメモとともに置かれていました。伊達直人は漫画「タイガーマスク」の主人公で、プロレスラーとして活躍するかたわら恵まれない孤児たちを物心両面に渡って支援しました。

この前橋市の出来事をきっかけに、全国様々なところに「伊達直人」が現れ、同じような善意が寄せられました。「伊達直人」と名乗る人物は一体誰か？正体は分からぬままでした。

数年前、正体が分かりました。前橋市に住む河村正剛さん(44)という人物でした。河村さんは伊達直人同様孤児で、小さい頃親戚を文字どおり「たらい回し」にされたそうです。「お前はなぜ生まれてきたんだ、謝れ。」と言われ、人間としての尊厳を叩き折られたと語っていました。自分と同じ境遇の孤児たちに少しでも夢を与えたい、自らを「伊達直人」に重ね合わせていたそうです。

しかし、個人でランドセルを送り続けるには金銭的にも無理です。そこで正体を明かし、市へ孤児達への支援の充実を働きかけました。市では早速「ふるさと納税・タイガーマスク運動支援プロジェクト」として広くお金を集めました。全国から二千万円ものお金が集まりました。このお金は、社会自立のための費用として卒園時に一人15万円、運転免許取得料に充てられるそうです。小さな善意、たくさんの優しさに胸が熱くなりました。

■「成人の日」、信じられない事件が起こりました。晴れ着の販売等を行う業者が店を閉鎖し、たくさんの成人が楽しみにしていた「成人式」に出られないという前代未聞の出来事でした。この業者の近くの交番には、被害に遭った人たちが泣いたり、悔しがったり、事態が飲み込めず呆然としたり、たくさんの人が集まっていたそうです。

成人式を主催する教育委員会は異常を察知し、近隣の美容室等に何とか成人式に間に合う手立てがないか問い合わせました。美容室の経営者はインターネットを使い広く協力を呼びかけました。たくさんの美容室が応じました。

予約客で美容室はいっぱいでしたが、何とか着物を着せ、髪を整え、成人式に出してあげたい。たくさんのボランティアが集まったそうです。着物も次々と届いたそうです。

泣いている人たちに「大丈夫だよ、大丈夫だよ」と何度も何度も声を掛けながら、髪を結い着物を着せました。何とか間に合った晴れ着姿の新成人を「楽しんでください」と式に送り出しました。さらに「被害に遭って成人式に晴れ着で出られなかった人たちのためにもう一度成人式をやってあげたい」と言う人たちまで現れました。

このニュースを見て、たくさんの人たちの「優しさ」に感動し涙が出ました。ひどい事件でしたが、図らずもたくさんの人たちの「優しさ」、小さな善意に気付くことができました。

小さな善意、「優しさ」があふれる学校、社会にしていきたいと思います。

◎生徒の活躍

- ・目黒区教育委員会児童生徒表彰 1/30 区総合庁舎で表彰式がありました。
〇〇〇〇くん 平成29年度 薬物乱用防止標語 東京都優良賞
〇〇〇〇さん 平成29年度 東京都明るい選挙ポスターコンクール 優秀賞
- ・第4回目黒区中央体育館主催ソフトテニス交流大会
第2位 男子ソフトテニス部

■70周年記念オリンピック・パラリンピック教育講演会

1月18日(木)、講師に北京パラリンピック ゴールボール7位入賞 高田朋枝選手をお招きし、70周年記念オリンピック・パラリンピック教育講演会「あすチャレ!スクール ゴールボール」を開催しました。ゴールボールを体験したり、高田選手の生き方についてお話をうかがったり、大変有意義な心に残る講演会となりました。

高田選手は一度引退したものの、復帰し2020年東京パラリンピックに向けて現役の選手として活躍しています。八中全体で高田選手を応援していきます。

素敵な感想文がたくさんありました。紹介します。

- ・私は今回初めてゴールボールを見ました。真っ暗な視界の中でスポーツをするのはとても怖そうだと思います。しかし、代表で体験している人たちはみんな笑っていて「こわそう」から「楽しそう!」と心に変化がありました。「ともちゃん」先生の言葉はとても感動しました。「みんな同じ人間」本当に心あたまる言葉だと思います。
- ・僕は代表でゴールボールをやらせてもらいました。ゴールボールをする前は、音がした方向に跳ぼうと思っていました。しかしやってみると、音はしますがどの場所に転がってくるのか、いつボールが来るのか、全く分かりませんでした。最後に高田さんが、生徒5人のシュートを止めたときはとても驚きました。いくつかの変化球もあり、とくにカーブがすごかったです。また高田さんから、常に全力でやるということを学べたのでとてもよかったです。
- ・最後にともちゃんのお話を聞いたとき、私も面倒くさがり屋で嫌なことから逃げやすいから、とても共感するものがありました。でも、そこからゴールボールに打ち込んでいった、という話を聞いたとき、とてもカッコいいなあ、私もそういう人になりたいなあ、と感じました。新しい世界に踏み込むことは勇気がいるけれど、私も少しずつ少しずつチャレンジしていきたいと思います。
- ・「あすチャレ!スクール」で私はみんな同じだということ学びました。私は小学生のときに仲間外れにされたりしてしまったことがあり、そのときからずっと「私はみんなと違って変なのかな?」「私は嫌われ者なんだ」と思っていました。でも今回お話を聞いて「みんな同じなんだ!」と思い安心したと同時に、「直すところは直さない」と思えました。私は勉強が習慣付いていません。ついついサボってしまいがちなので、そこから直して自分を変えていこうと思いました。
- ・ゴールボールで身に付ける「アイシェード」は本当に真っ暗で、こんな暗くてボールを投げたり止めたりできるなんてすごいなと思いました。私は将来の夢は?と聞かれたら答えられないと思うけれど、今回の話を聞いて、誰かのためになるような仕事に就きたいと思いました。そして毎日毎日、自分が嫌だなと思うことでも挑戦して、自分にもっと自信をもてるようにしたいです。ゴールボールという競技を実際に見て、とても楽しかったです。
- ・私はゴールボールを体験しました。ボールが思ったところにいかないことが分かりました。見ているのとやるのでは全く違い、見ているだけだと音を聞いて動くだけだから簡単かもなどと思っていましたが、やってみるととても難しかったです。目が見えなくてもともちゃんは普通にボールを取っていて驚きました。アイシェードは何も見えなくて怖かったけれど、やってみると面白かったです。

※ 平昌オリンピック・パラリンピックも日本人選手の活躍を期待しましょう。